

## 旺文社が中年以上の大人世代に贈る 『大人のための健康脳ドリル』12月26日発売 人気の予備校講師と脳科学者が組む意欲作！

教育出版の株式会社旺文社(東京都新宿区、代表取締役社長 生駒大壱)は、主に50歳以上の方々を対象とした『大人のための健康脳ドリル』Vol1, Vol2を12月26日に同時刊行いたします。

本書は、中年以上世代の「いつまでも体も脳も健康でいたい」との願いを手助けしたいと企画したものです。

なお、本書の著者は有名予備校講師の板野博行先生、監修は気鋭の脳科学者、池谷裕二先生、そして1970年代の日本ギャグ漫画界をリードした谷岡ヤスジ先生の作品をイラストに採用しています。



© 谷岡プロ

### ■『大人のための健康脳ドリル』は旺文社の恩返し

本書は主に50歳以上\*1の方々を対象としていますが、特に現在60歳から70歳前半の方々は、昭和40年代(1965年～)前半以降に18歳に達したいわゆる“団塊の世代”を中心とした人口の多い世代で、大学・短大への進学志向が上昇した世代でもあります。当時の進学志向の高まりとともに、旺文社も全国で参考書や問題集を多数販売し、「大学受験ラジオ講座\*2」を全国で放送しました。また個々の受験生が自らの学力を知る統一テストとして「旺文社模試\*3」を行い、志望校の選択をサポートしました。まさに旺文社と共に歩んでいただいた世代が、半世紀を生き、充実したセカンドライフを送られています。

『大人のための健康脳ドリル』は、旺文社の参考書や問題集を使い、模擬テストを受けて進学され、社会に出て行かれた世代に、改めて恩返しさせていただきたいとの思いから、大人向けドリルとして刊行いたします。

※1. 2017年10月1日現在の51歳以上の人口は約5564.3万人、総人口の約43.8%(総理府統計局「日本の統計」より)

※2. 大学受験ラジオ講座:文化放送(中波、1952年から1995年放送)を中心とした全国の地方中波局と日本短波放送(短波、1954年から1999年放送)で放送された大学進学のための学習番組。テーマ曲はブラームスの「大学祝典序曲」。

※3. 旺文社模試:「大学入試模擬試験」として1955年にスタートした学校集団形式の模擬試験。2000年に終了。



### ■考える＝脳を使うことは、脳を健康にする！

多くの人は年を重ねても、体も脳もずっと健康でいたい、と思うものです。本書は、京都大学出身の東進ハイスクール・東進衛星予備校の人気国語講師、板野博行先生に執筆、監修は東京大学薬学部教授の脳科学者、池谷裕二先生にご担当いただき、「考えることは脳を健康にする」をテーマに、とにかく「脳を使う」ことにこだわったドリルを目指しました。掲載した問題は、池谷先生によって、記憶・論理・言語・イメージ・ひらめきの5つの「脳のはたらき」に分類され、問題ごとにどの「脳のはたらき」が必要なのか、わかるようになっています。なお、おまけクイズには、1946年以降の出来事を収録、読者に懐かしさを感じていただけるプレイバック問題「覚えていませんか？」も加えました。



© 谷岡プロ

さらに、本を彩るイラストは、大人世代には懐かしい1970年代の漫画界を席卷したギャグマンガの巨匠、谷岡ヤスジ先生のキャラクターをドリル内で多数使用しています。

## ■五つの特長

健康寿命を意識し、心身とともに脳も元気であることを目的に、「1日たった3分で脳を健康にする」ことを目指した、大人のための新しい脳ドリルです。

### ① 1日1問、3分だけの手軽さ

1日1問、3分考えることで、「健康脳」を目指せるように問題を精査してあります。無理なく、空いたスキマ時間で、脳に働きかけることができます。また、問題は正解するだけでなく、考えることにも重視してあります。気楽な気持ちでチャレンジしましょう。



### ② 問題ごとに、どの「脳のはたらき」が必要かがわかる！

脳科学者である池谷裕二先生によって、重要な「脳のはたらき」を5つに分類し、それぞれの問題が、どの「脳のはたらき」が必要なのか明記しました。また、解答・解説を補足する「池谷先生のポイント解説」にも注目しましょう。

### ③ 脳をサボらせない、バラエティ豊かな問題群！

同じことを繰り返して慣れてしまうことは、脳にとって良くありません。この本では、あえて様々な「ジャンル」、「難易度」を混在させ、しかもランダムに配置することで、脳に常に刺激をあたえるように配慮しました。

### ④ 楽しんで問題にチャレンジできる！

ページが切り離せるようになっているので、1人だけではなく、みんなで楽しめるようになっています。また、日本ギャグマンガ界の巨匠、谷岡ヤスジ先生のイラストをふんだんに使用し、飽きずに楽しくチャレンジできるように工夫しました。



### ⑤ 飽きさせない工夫で、モチベーションアップ！

問題にチャレンジした結果を記録できる「健康脳 結果チェック表」を用意しました。また、メイン問題の他、各年代で何が起こったのかを答えるクイズ「覚えていますか？」を用意しました。息抜きはもちろん、このクイズだけでも楽しめるようにしてあります。さらに全問題を修了した方のために、巻末に楽しい「修了証」も用意しました。

今日の健康脳

# 01

脳のはたらき

**記憶**

論理 言語  
イメージ ひらめき

難易度

★

**問1** 交通信号機の赤の位置はA、Bどちらの位置が正しいでしょうか？正しい方を○で囲ってください。

**問2** 同様に、歩行者信号機では、止まれを意味する「赤」の位置はどちらでしょうか？正しい方を○で囲ってください。

全図面に赤は見やすい位置のはず！

解答・解説は次のページ

覚えてますか？

1946

昭和21年

昭和天皇が人間宣言をし、陸軍閣僚軍事裁判（東京裁判）が開始した年です。

Q 文中の空欄を埋めてください。

この年、井深大と藤田昭夫らによって、戦後の焼け跡でたばこの一室に東京通信工業という会社が設立されました。それは後に「**オーディオ**」などを生み出したことで、株式会社ソニーとして知られるようになります。

○  オー  マン

## 01

解答・解説

**解答**

M1 B

M2 A

**解説**

赤信号が見えるかどうかは、安全のためにはとても重要です。

車で走っているとき、日本ではたいていの運転手の位置は右側、つまり道路の中央寄りです。そこで、運転手の座っている右側に「赤」を一番近くして、赤を最も見やすく、意識させやすくしているのです。同時に一番外側に配置することで、木の枝葉などで赤信号が隠れないようにしているのだそうです。

問2も同様の観点から、歩行者に赤信号をしっかりと見て確認してほしいために、上に赤信号を配置しているのです。横断歩道で信号待ちの歩行者の前に、背の高いトラックなどが止まっても、車の向こう側にある赤信号がちゃんと見えよう、上に配置しているのです。

**池谷先生のポイント解説**

見慣れたものでも案外と知らないものです。でも理屈を考えるとおのずと正解へ行き着きます。

## ■書籍概要

定価：1,080円(税込)(Vol.1,Vol.2 同額)

刊行：2017年12月26日

体裁：B5判 2色刷 80ページ

対象：昭和40～50年、旺文社のラジオ講座・旺文社模試などを受講・受験していた世代

## ■著者陣紹介(敬称略)

著者:板野博行(いたの ひろゆき)



山口県下関市生まれ。岡山朝日高校を経て京都大学文学部国文科卒。東進ハイスクール、東進衛星予備校講師。学力を

引き上げる的確な指導で、受験生から絶大な人気を集めており、200万部突破の受験参考書の古文単語集「ゴロゴ」シリーズはバイブル的存在。また、一般向けの著書も『眠れないほどおもしろい百人一首』(三笠書房)、『2時間でおさらいできる日本文学史』(大和書房)など多数。

監修:池谷裕二(いけがや ゆうじ)

1970年静岡県生まれ、薬学博士、東京大学薬学部



教授。海馬や大脳皮質の可逆性を研究し、

脳の老化や健康についても探求している。2013年、日本学士院学術奨励賞を受賞。著書に『進化しすぎた脳』(講談社)、『脳はこんなに悩ましい』(共著・中村うさぎ/新潮社)、『できない脳ほど自信過剰 パテカトルの万能薬』(朝日新聞出版)、『パパは脳研究者 子どもを育てる脳科学』(クレヨンハウス)など多数。

イラスト:谷岡ヤスジ(たにおか やすじ)

1942年愛媛県生まれ。本名・谷岡泰次(やすつぐ)。赤塚不二夫と並び、日本ギャグマンガ界の巨匠と言われる。1970年、『ヤスジのメッタメタガキ道講座』で大ブレイク。「アサー」「鼻血ブー」は流行語にもなった。その強烈なキャラクターや、不条理なストーリーを特徴とするが、哲学や思想を感じさせる独自の谷岡ワールドを展開し、今なお多くのファンがいる。1999年惜しまれつつ逝去。



© 谷岡プロ

## 【会社概要】

社名：株式会社 旺文社

本社：〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55

設立：1931年10月1日

TEL：03-3266-6400

代表者：代表取締役社長 生駒 大吾

URL：<https://www.obunsha.co.jp/>

事業内容：教育・情報をメインとした総合出版と事業

## 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社 広報担当 TEL:03-3266-6400 FAX:03-3266-6849 E-mail: [pr@obunsha.co.jp](mailto:pr@obunsha.co.jp)

